

感染しないために、 こんなことに注意しましょう

人への感染を予防するためには、「感染源となる動物の対策」、「感染経路対策」、「病気を移される側にある人に対する対策」の3つがあげられます。



感染源となる動物の対策

★ペットの体調管理に気を配りましょう。

飼っている動物は、ブラッシングや爪切り等、こまめに手入れをして清潔にしておきましょう。また、ペットの行動や体調に異常がみられる場合については、動物病院を受診し、適切な治療を受けましょう。

★動物の身の回りは清潔にしましょう。

小屋や鳥かごなどはよく掃除し、常に清潔に保ちましょう。糞が乾燥すると空中に漂い、吸い込みやすくなります。糞に直接触れたり、吸い込んだりしないように気をつけ、早めに処理しましょう。



★イヌの予防注射と登録等を実施しましょう。

飼い主には狂犬病予防のための法律で、飼い犬の登録と飼い犬への狂犬病ワクチンの接種、鑑札と注射済票の装着が義務づけられています。ご相談は市町村等の窓口へ。



感染経路対策

★ペットとの過剰なふれあいは控えましょう。

細菌やウイルスなどが動物の口の中や爪にいる場合があるので、口移しでエサを与えたる、スプーンや箸の共用はやめましょう。

また、動物を布団に入れて寝ることも、濃厚に接触することになるので注意が必要です。

★室内などで動物を飼育するときは、換気を心がけましょう。



病気を移される側にある人に対する対策

★動物にさわったら、必ず手を洗いましょう。

知らないうちに動物のだ液や粘液にふれたり、傷口などにさわってしまうこともあるので、動物をさわった後は必ず手を洗いましょう。

動物には病気を起こさなくても、人には病気を起こす病原体があります。



★砂場や公園で遊んだら、必ず手を洗いましょう。

動物が排泄をおこないやすい砂場や公園は特に注意が必要です。

特に子どもの砂遊び、ガーデニングでの草とりや土いじりをした後は、十分に手を洗いましょう。

また、糞を見つけたら速やかに処理しましょう。

★動物由来感染症に対する正確な知識を身につけましょう。

動物由来感染症を予防するには、動物由来感染症についての的確な情報を習得することが重要です。

動物由来感染症の原因がどこにあるのか、どのように予防できるのかを知り、確実に実行することが大切です。